

令和 6 年度 園内自己評価書

令和 7 年 3 月 1 0 日
真庭市立中和保育園
園長 二宗くり子 印

1. 中和保育園の教育保育目標

○豊かな心もち、いきいきと活動する子どもの育成

【めざす子どもの姿】

- ・元気な子ども
- ・考える子ども
- ・思いやれる子ども

2. 本年度の重点目標

- ①恵まれた自然の中で、心が動く体験を通して、生きる意欲と豊かな感性を育てる。
- ②家庭との連携を深め、生活習慣の定着を図りながら心身ともに健康に生活する基盤をつくる。
- ③資質向上につながる研修等を通して、園児一人一人を大切にしたりより充実した保育実践を行う。
- ④地域の中で、小学生や様々な人と関わることで、ともに親しむ共存性を育む。
- ⑤食育計画に基づいた安心・安全な給食の提供を行う。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
保育教育課程・指導計画	保育目標に基づき、自然の中でいきいきと活動できるような指導計画を作成できた。今後も実態に合った目標と計画を示していきたい。	4
行 事	子どもの発達段階や状態に合わせた行事になるよう努めた。子どもたちが楽しんで参加できる行事を計画実施していきたい。	4
組織・運営	少人数職員のため、揃って打ち合わせをする時間が取りにくかったが、相互に協力し役割に応じて運営できた。会議等については計画を立て、実施するようにする。	4
学級経営	一人一人の良さを認めながら、適切な環境設定の上で保育を行うことができた。また、森あそびに関しては、活動の幅が広がり発展性が見られた。	4
特別支援教育	きめ細やかな対応を心がけている。個々の発達段階に応じた保育を実践していきたい。	3
安全管理・保健指導	マニュアルに沿った適切な安全管理を行った。様々な災害を想定した訓練では、丁寧に伝え、繰り返し実践することができた。健康安全についても必要な啓発を行うことができた。	4
研修（資質向上）	園内外の様々な研修を通して学びを深くし、職員間で共有することができた。今年度は研修・実践と学ぶ機会が多くあり、職員の資質向上に繋がった。	4
情報提供・保護者・地域との連携	日々の子どもの様子や姿をツールを通して保護者と共有することができた。地域の方々にも会議等で伝える機会があった。今後も園の活動の発信を継続していきたい。	4
小学校との接続・連携	今年度は年長児がいないこともあり、交流の実施が難しく感じられたこともあったが、今後は互恵性が伴うような話し合いのもと、より良い交流ができるようにしたい。コミュニティ・スクールを通じて、小学校との連携や情報交換が適切に実施されている。	3
子育て支援	安心感をもって何でも気軽に話ができる関係が築けている。様々なニーズに関しては、受け止めながら適切に判断していきたい。	3
食育の推進（給食）	園児に声掛けをしたり、園児からも給食の献立を聞いたり、温かい関係性が保たれている。食育の推進に関しては担当と相談しながら適切に進めることができた。	4

食事の提供（調理）	常に安心・安全な美味しい給食が提供できるよう様々な工夫と細かい配慮がなされている。	4
-----------	---	---

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- ・「自然保育」の実践も2年目になり、さらに活動が発展した一年だった。恵まれた自然の中で子どもたちが伸び伸びと活動し、主体的に遊びを創造する姿が見られ、心身共にたくましく成長していることが実感できた。
- ・保護者の思いに寄り添いながら保育活動が実施できた。生活習慣の確立を目指し、保護者と伝え合いながら年齢に応じた提案を今後も続けていきたい。
- ・園内外の様々な研修に参加し、保育に活かすことができた。今後も職員間で話し合い、共通理解に努めながら保育を進めていきたい。
- ・地域のサポーターの方々に支えられて様々な場での交流ができた。今年は年長児がいなかったため交流会の開催の時期が定まらない点があったので来年度により良い交流ができるようにしたい。
- ・温かい雰囲気の中で毎日の給食の提供がなされている。安全に配慮した管理のもとで調理されており、安心感に繋がっている。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・「自然保育」に関しては、本来の園生活を大切にしながら自然環境を活かした保育を継続していく。また、内容に合わせて参加クラス等を臨機応変に対応することとする。
- ・保護者からの要望に対しては、思いに寄り添いながら相談を重ね、適切に判断・実施をしていきたい。
- ・様々な研修会への参加と復命、実施と振り返りによって資質向上がなされたと思う。保育への思いや内容を的確に伝えられるようにしていきたい。
- ・園での活動の様子をコードモンやホームページで発信してきた。今後も継続することで保護者と共有しながら保育の安心感に繋げていきたい。
- ・小学校との関係についてはより良い連携ができているので、相互に実りのある活動を目指し、さらなる関係性が築けるように努めたい。
- ・食育活動については、安心・安全な提供と一人一人への配慮がなされているので、今後も継続し推進していきたい。

園評価基準

評 価	基 準	
4	80％以上の達成度	十分達成されている
3	60％以上80％未満の達成度	概ね達成されている
2	40％以上60％未満の達成度	取り組みられているが、成果が十分でない